

三島海雲記念財団

第60回(2022年度)学術研究奨励金対象決定と贈呈式のお知らせ

公益財団法人 三島海雲記念財団(理事長 今関 博、所在地 東京都渋谷区)は、第60回(2022年度)学術研究奨励金(研究助成)の対象を決定しました。贈呈式は三島海雲学術賞と合わせ7月8日(金)に東京會館(東京都千代田区)にて行います。

今年度の奨励金交付総数は75件、総額は9,100万円です。対象者と助成研究については、次頁以降をご参照ください。これにより1962年度から2022年度までの累計助成金額は16億9,260万円になります。

今回の学術助成金額

	自然科学分野 件数・額	人文科学分野 件数・額	合計 件数・額
個人研究	54件 5,400万円	17件 1,700万円	71件 7,100万円
共同研究	3件 1,500万円	1件 500万円	4件 2,000万円
合計	57件 6,900万円	18件 2,200万円	75件 9,100万円

今回助成される皆様の中から、将来の三島海雲学術賞が輩出されることを期待しています。

三島海雲記念財団について



財団創設者 三島海雲

当財団は、自然科学、人文科学に関する教育、研究を援助奨励し、もってその成果の普及を図り、学術、文化の向上、国民生活の充実に寄与することを目的としています。カルピス株式会社創業者の三島海雲が1962年(昭和37年)に全資産を投じ設立しました。

この目的に基づき、社会貢献の一端を担う学術支援活動をこれからも一層推進してまいります。

<本件に関するお問合せ先>

公益財団法人 三島海雲記念財団 事務局 唐木田 陽一、青山 光夫

〒150-0012 東京都渋谷区広尾 1-6-10 ジラッフアビル

Tel:03(5422)9898

e-mail:mishimak15@mishima-kaiun.or.jp

URL:<https://www.mishima-kaiun.or.jp>

2022年度学術研究助成 課題および対象者一覧

【自然科学分野】 個人研究 54件／一件100万円の助成

No.	研究課題	氏名	所属機関	役職
1	甲殻類における脱皮に際した細胞挙動可視化系の確立	足立 晴彦	大阪大学大学院 生命機能研究科	JSPS特別 研究員/ 博士課程
2	糖化制御を標的とする栄養疫学視点からの統合失調症発症予防法の創出	新井 誠	東京都医学総合研究所 精神行動医学研究分野	副参事 研究員
3	新規胚環境操作-糖尿病モデルマウスによる臓器障害機構およびEPAの病態抑制効果の解明	石山 詩織	山梨大学 医工農学総合教育部	博士課程
4	ナツメ含有トリテルペノイドによる細胞老化抑制作用を介した疾患予防効果	伊藤 崇志	福井県立大学 生物資源学部	教授
5	幼少期のストレスが強迫的摂食行動を惹起する脳内機構解明と食事介入によるその予防の可能性	井上 和生	京都大学大学院 農学研究科	教授
6	ポリアミン摂取による腸管幹細胞の機能改善を介した老化抑制の検討	今田 慎也	マサチューセッツ工科大学 コッホがん研究所	博士 研究員
7	食品由来ペプチドが体内酵素及び腸上皮細胞で環状化するメカニズムの解明	岩崎 優	東京家政大学 短期大学部栄養科	期限付 助教
8	ピロリ菌を除菌可能な食べれる人工抗菌酵素剤の研究開発	内山 淳平	岡山大学 学術研究院医歯薬学域	准教授
9	ビタミンEとコエンザイムQ10によるオキシステロール誘導性細胞死抑制機構の解明	浦野 泰臣	同志社大学大学院 生命医学研究科	准教授
10	中鎖脂肪酸（MCTオイル）によるレプチン抵抗性改善作用に関する研究	海老原 千尋	自治医科大学 内分泌代謝学部門	客員 研究員
11	原位置高効率施肥管理に向けた小型核磁気共鳴センサによるイオン成分同時定量システム	大多 哲史	静岡大学 学術院工学領域	助教
12	新規バイオアッセイを利用した腸内微生物の作用メカニズムの理解	大野 速雄	日本女子大学 理学部	講師
13	認知機能低下に影響を与える脳内因子の探索：機能性脂質によるアルツハイマー病予防法の構築を目指して	乙木 百合香	東北大学 農学部	助教
14	「食の記憶」の生成と強化メカニズム	甲斐 信行	獨協医科大学 先端医学科学研究センター	助教
15	大腸がんの死亡率低下に寄与する腸内環境の解明および次世代プロバイオティクスの開発	片岡 温子	埼玉医科大学 国際医療センター	助教
16	乳酸菌類の生産する新奇多糖類の食品応用 ～誤嚥防止食材の開発を目指して～	金内 誠	宮城大学大学院 食産業学研究科	教授
17	生きた動物の消化機能の光操作法開発	金子 涼輔	大阪大学大学院 生命機能研究科	准教授
18	ビタミンB6の筋衛星細胞および筋再生に与える影響、およびサルコペニア予防への応用	Kumrungsee Thanutchaporn	広島大学大学院 統合生命科学研究科	准教授
19	低栄養性脂肪肝の発症における「筋肝連関」の役割の解明	亀井 康富	京都府立大学大学院 生命環境科学研究科	教授
20	食中毒や食物アレルギーの回避を目指す家庭内分析技術の創出	北口 哲也	東京工業大学 科学技術創成研究院	准教授
21	糖鎖生物学を基盤としたノロウイルス感染機構の解明	紅林 佑希	静岡県立大学大学院 薬学研究院	助教
22	冷凍品の品質保持に有用な食用キノコ不凍タンパク質の構造構築原理の解明	近藤 英昌	産業技術総合研究所 生物プロセス研究部門	主任 研究員

(自然科学分野 個人研究の続き)

No.	研究課題	氏名	所属機関	役職
23	コリン添加食による肝疾患改善メカニズムの解明	西條 栄子	東京大学 定量生命科学研究所	技術 専門職員
24	ミリスチン酸による生活習慣病/肥満・骨格筋減少・鬱/ 認知症・感染症・癌の総合予防	坂根 郁夫	千葉大学大学院 理学研究院	教授
25	食の安全性を担保する高精度遺伝子編集技術の確立	迫野 昌文	富山大学大学院 理工学研究部	准教授
26	サルコペニア予防を目指した骨格筋萎縮抑制食品成分の 探索	澤野 祥子	麻布大学 生命・環境科学部	准教授
27	エネルギー代謝調節に関わる新規脳内因子による食嗜好 制御メカニズムの解明	鹿野 健史朗	大分大学 医学部	助教
28	反芻家畜の非侵襲的な栄養代謝モニタリングにおけるポリ アミンの有効性の検討	白石 純一	日本獣生命科学研究科 応用生命科学研究科	講師
29	回腸を標的とするピログルタミンペプチドによる腸内細菌 叢改善作用メカニズムの解明	白子 紗希	立命館大学 生命科学研究科	助教
30	不溶性食物繊維の生理機能と食感を制御する新規加工技 術の開発	鈴木 栞	北海道大学大学院 農学研究科	助教
31	機能性食品成分の中樞神経再生における機能解析	関根 勇一	京都薬科大学 薬学部	講師
32	農作物に含まれる化合物によるインスリン分泌促進メカ ニズムの解明	田口 昭彦	山口大学大学院 医学系研究科	助教
33	非活動期における脂肪酸代謝を高める食品成分の探索と その作用比較	田中 誠也	東京海洋大学 学術研究院食品生産科学部門	助教
34	食習慣が腸管抗体レパトアに及ぼす影響の解析	近澤 未歩	名城大学 農学部	助教
35	免疫細胞のBlood-milk barrier通過機構に着目した乳中 体細胞数の調節と乳質の向上を目指す研究	津上 優作	広島大学大学院 統合生命科学研究科	助教
36	乳酸菌における新規遺伝暗号翻訳システムの探索	富川 千恵	愛媛大学大学院 理工学研究科	特任講師
37	超小型MEMSセンサを活用した着け心地のよいウシ用スト レスセンサ端末	野上 大史	九州大学大学院 工学研究院	助教
38	酵母における発酵経路酵素の細胞内局在性の制御とその 生理機能の解析	野村 亘	京都大学大学院 農学研究科	研究員
39	ビタミンが子宮細胞に与える影響の検証	唄 花子	北海道大学大学院 農学研究科	助教
40	糖質摂取とその代謝調節が胎児の生殖細胞形成に与える 影響とその仕組み	林 陽平	東北大学 加齢医学研究所	助教
41	分子シミュレーションに基づくヒト由来味覚受容体の味 物質認識メカニズムの解明	原田 隆平	筑波大学 計算科学研究センター	准教授
42	Palmitic acid metabolism regulates muscle stem cell function	Valentine William	国立精神・神経医療研究センター 神経研究所	Research Fellow
43	アニサキス症における胃での好酸球を介した免疫応答活 性化機構と劇症化因子の解明	飛弾野 真也	国立国際医療研究センター研究所 肝炎・免疫研究センター	上級 研究員
44	難吸収性ポリフェノールの腸脳相関作用を介した食行動 および代謝機能調節機構の解明	廣直 賢勇	神戸大学大学院 農学研究科	博士課程
45	Innovative meal: evaluation of immersion vacuum cooled sausages stuffed in a new novel casing formulation with flavonoids extracted from waste orange peel based on hyperspectral imaging	FENG CHAOHUI	北見工業大学 地域未来デザイン工学科	助教
46	鰹節の製造に使用されるカビが有性生殖する能力を失う 現象の解明	二神 泰基	鹿児島大学 農学部	准教授

(自然科学分野 個人研究の続き)

No.	研究課題	氏名	所属機関	役職
47	女性におけるVitamin D 状態の評価と胎盤機能との関連性	古堅 彩子	北海道大学大学院 薬学研究院	助教
48	タンパク質に対する食欲制御機構の解明	松居 翔	京都大学大学院 農学研究科	助教
49	局所強電場を用いる微生物利用技術の革新と機能性食品生産への応用	三重 安弘	産業技術総合研究所 生物プロセス研究部門	研究グループ長
50	口腔疾患がMalnutrition Inflammation Atherosclerosis (MIA) 症候群を介して透析患者の生命予後に与える影響	三上 理沙子	東京医科歯科大学 大学院 (歯系)	特任助教
51	胎児期からの低栄養による腸内細菌叢異常を介した子供の神経発達異常メカニズムの解明	三宅 邦夫	山梨大学 医学部	准教授
52	食感覚による消化器反応の神経機構の機能解剖学的解析	村田 航志	福井大学 学術研究院医学系部門	助教
53	ビタミン D による T 細胞免疫の機能制御と栄養条件の体系的解析	森 真弓	神戸医療産業都市推進機構 先端医療研究センター	特任主任 研究員
54	植物性たんぱく質摂取による慢性腎臓病患者のサルコペニア予防	吉岡 将輝	筑波大学大学院 人間総合科学学術院	博士課程

【自然科学分野】 共同研究 3 件／一件 500 万円の助成

No.	研究課題	代表研究者	所属機関	役職
1	食事による自律神経制御で目指す免疫力の活性化	安部 力	岐阜大学大学院 医学系研究科	准教授
2	難消化性多糖類のメタボリックシンドロームへの関与とそのメカニズムの解析	小野寺 康仁	北海道大学大学院 医学研究院	准教授
3	アミノ酸が細胞外小胞分泌に与える影響の解明と疾患治療への応用研究	山本 雄介	国立がん研究センター研究所 病態情報学ユニット	独立ユ ニット長

2022年度学術研究助成 課題および対象者一覧

【人文科学分野】 個人研究 17件／一件100万円の助成

No.	研究課題	氏名	所属機関	役職
1	仏典の翻訳・校正マニュアル『賢者の源』のチベット・モンゴル語のテキスト校訂	ありるでいいぼるまあ	大谷大学大学院 文学研究科	研究生
2	モンゴル族にとってラクダとは何か?—極乾燥地の人—動物関係と牧畜文化の民族誌的研究	WU WUYUNGA	総合研究大学院大学	博士課程
3	星辰崇拜の様相について：古代メソポタミア文明期からイスラーム期までの連続と変容	江原 聡子	東京大学大学院 総合文化研究科	博士課程
4	無常鬼の研究——中国をフィールドとした妖怪学の試み	大谷 亨	東北大学大学院 国際文化研究科	博士課程
5	クメール建築の連子子における美術史ならびに建造技術的特質	岡崎 伸哉	日本工業大学大学院 工学研究科	博士課程
6	古代東アジアにおける「辺境島嶼」支配と入境管理体制の研究	柿沼 亮介	早稲田大学高等学院	教諭
7	モンゴルにおける西洋からの宣教師たちの医療衛生活動に関する史料研究	近衛 飛鳥	千葉工業大学 社会システム科学部	助教
8	モンゴル高原所在の古代トルコ語碑文に対する文献学的研究	齊藤 茂雄	帝京大学 文化財研究所	講師
9	欧州冷戦と中国：中国の「ドイツ問題」関与と対東西ドイツ政策 1949～1965	邵 天澤	京都大学大学院 人間・環境学研究所	博士課程
10	満洲における日系漢字新聞をめぐる研究—『盛京時報』を中心に	徐 璐	京都大学大学院 文学研究科	博士課程
11	モンゴル国における伝統的牧畜の継承に関する研究—進学と職業選択に着目して—	中村 絵里	千葉大学 未来医療教育研究機構	特任助教
12	1990年代韓国における分断と反共独裁の記憶をめぐる葛藤—進歩派の記憶変遷を中心に—	Vierthaler Patrick	京都大学大学院 文学研究科	博士課程
13	オーストロネシア諸語の記述文法作成に向けた民話・談話・用例テキストの保存	深谷 康佳	広島大学大学院 文学研究科	博士課程
14	インダス文明期小規模遺跡を対象とした、土器の生産と流通に関する学際的研究	三木 健裕	東京大学 総合研究博物館	特任助教
15	ダイチン・グルン(大清国)江南地域における駐防八旗研究	葉 勝	京都大学大学院 文学研究科	博士課程
16	元時代の水墨人物画の研究—画僧による作品を中心に	李 宜蓁	九州大学大学院 人文科学府	博士課程
17	戦間期ソ連・イラン関係史	李 優大	東京大学大学院 法学政治学研究所	博士課程

【人文科学分野】 共同研究 1件／一件500万円の助成

No.	研究課題	代表研究者	所属機関	役職
1	五言語合璧「普度明太祖長巻」(15世紀)の言語文献学・美術史的研究	松川 節	大谷大学 社会学部	教授

(所属機関・役職は申請時、敬称略)